

新聞記事コーナー

中日新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2018/4/25	朝	12	小野徹郎	名誉教授	名古屋城どうバリアフリー化 有識者ら対策議論
2018/4/29	朝	6	奥山文雄	名誉教授	春の叙勲受章者
2018/5/6	朝	4	伊藤孝紀	建築・デザイン工学科	“官製”から転換、栄再開発 石原猛(経済部)
2018/5/6	WEB		伊藤孝紀	建築・デザイン工学科	“官製”から転換、栄再開発 石原猛(経済部)
2018/5/10	朝	6	名古屋工業大学	—	三菱UFJ銀と名大 次世代産業育成へ協定
2018/5/12	朝	11	吉川芳和	卒業生(C54)	新社長に吉川芳和氏 NIPPO
2018/5/20	朝	30	名古屋工業大学	—	法人統合 他大学は慎重 命題・岐大が呼び掛け 「利点見えず」「単独経営で」
2018/5/20	朝	18	名古屋工業大学	—	セクハラ被害対策 窓口充実、早めの相談を 啓発や法整備に課題も
2018/5/21	朝	12	名古屋工業大学	—	スポーツ ◇卓球 ◇射撃
2018/5/27	朝	27	山下啓司	生命・応用化学専攻	危険競技イメージ心配 中部の大学関係者
2018/5/28	朝	12	夏目欣昇	社会工学科	名工大生デザイン 外壁に新開発建材 碧南のメーカー本社
2018/5/30	WEB		伊藤孝紀	建築・デザイン工学科	芦原温泉駅西口再整備計画 新幹線延伸に向け基本構想決定
2018/6/6	朝	14	徳田研究室	—	名工大の音声案内「メイちゃん」新装 新たに弟「タクミくん」登場
2018/6/6	中日 プラス		徳田研究室	—	名工大の音声案内「メイちゃん」新装 弟「タクミくん」登場
2018/6/7	朝	1	平田晃正	電気・機械工学専攻	暑さ慣れぬ体、熱中症リスク 名工大チーム「低気温でも警戒を」
2018/6/7	中日 プラス		平田晃正	電気・機械工学専攻	暑さ慣れぬ体、熱中症リスク 名工大チーム「低気温でも警戒を」

中部経済新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2018/5/15	朝	15	岩本悠宏	電気・機械工学専攻	【研究現場発】電池不要のワイヤレスセンサーへの応用 ゴムのように柔らかい永久磁石

随筆

仁科 健 教授名工大在席47年を振り返る“最終漫談”を開催

プラウド経営研究所株式会社
亀谷 剛 (FB⑦)

「敬老パスを貰っちゃいました」。冒頭のスライドで、いきなり敬老パスの話題。「最終講義ではなく、最終漫談」とおっしゃる通り、会場は大爆笑となりました。3月17日に行われた仁科健教授の最終講義です。大学教員の皆様や企業の皆様には、あえてご案内をされず、仁科研究室OB／OGだけにお声がけいただきました。それでも超満員に。聴講者それぞれ、自分の青春時代もフィードバックして、笑いに包まれつつも、ノスタルジックな“漫談”を楽しむひとときとなりました。

まずは、郷里岡山のお国自慢から、人生の振り返り。地元の仁科神社を「もちろん、学業の神様」と紹介。阪神タイガースのネタを無理やりねじ込む。同じ高校の後輩にブルゾンちえみが…と、笑いを何度も取っていました。そして、同じく後輩の高校球児を紹介しながら、「6年一貫教育による“縦のつながり”」を紹介することに。ご自分の人生を漫談として語りながら、名工大や経営工学のテーマに着地していきます。名工大が大学制へ移行してから、69年と

のようですが、そのうち仁科先生は学生時代も含めて47年在席されているとのこと。仁科先生のご経歴を振り返るとともに、名工大そして旧：経営工学科の歩みも振り返ることができました。昔の経営工学科の古い校舎。自宅生がごく一部で、全国から集まってきた個性派揃いの学生。大学紛争で正門に作られたバリケード。懐かしいお話が散りばめられていました。

そして、大学4年生の時に、ふらっと入った書店で、たまたま見つけた一冊の本との出会い。その偶然の出会いが、卒論から始まる研究者人生全体を貫くテーマをもたらしエピソードもご紹介いただけました。漫談としては、合コンで若い女性2人に腕を組まれ、デレっと微笑む写真もご披露。しかし、この辺りから、漫談と研究成果が交じり合っていきます。

名工大の助手職にありながら、東工大の経営工学科に内地留学された件。また、名工大と東工大の比較から、“経営工学”という学問の意義へと展開されていきます。「経営工学は、社会に対する“最前線に位置する”工学分野」というお言葉は、卒業後に企業で悪戦苦闘する我々には、とても心に響くお言葉でした。

お話はISOの舞台へ。国益というエゴ丸出しの猛者の中で、日本を代表してご活動されている秘話をご披露いただけました。なかでも、「2,473kgの石 担げますか？」の話は、目から鱗でした。数字の小数点を、英語圏は . (ピリオド) で表示するが、仏独語圏は , (コンマ) で表す。そして、ISOの世界では、未だに小数点は , で押し切られているとのこと。我々には、2000kg以上でも、ISOでは2kgあまりということに。こんな些細な所でも、戦いがあるのか…と実感しました。そんなシビアな秘話の中でも、笑いのネタがあります。ISOのあるデータに間違いがあり、仁科先生が手書きメモで伝



最終講義でなく最終漫談を終えた仁科先生

えた所、そのメモ自体がISOの公式資料として国際公示されたという。「僕の手書きのメモが、しばらく世界の正式なルールだった」と茶目っ気たっぷりに。

そして、名工大の改革に関するお話。生き残りをかけた事業の一つと言われた産業戦略工学専攻の誕生、工場長養成塾の開講、アジア人材事業の展開。経営工学科、そして名工大の発展に大きく寄与された事業の紹介…のはずが、やはり仁科先生らしく、そこはさらっと「そういうことがあった」という一言だけで切り上げられます。そして、次のスライドで表示されたのは、「とにかく、周りの人に恵まれた。背中を押してくれる人&背中を支えてくれる人、事務局あつての事業」それだけでした。

当時、仁科先生にお時間をいただくことが多かった私は、どれほど大変な思いをされていたか、どれほど超ご多忙の時期をお過ごしになっていたか。ご自身の研究にはまったく時間を使えず、毎晩夜中まで、これらの大学改革事業に時間を投じていたお姿を拝見していました。そのご苦労にはまったく触れられませんでした。仁科先生のお人柄を本当に表していらっしゃる。

最後に、現段階での研究成果の集大成でいらっしゃる新著『スタンダード品質管理』のご紹介。「最終講義が漫談なので、皆の研究成果として、この本を持ち帰ってもらいたかった」とのことで、前日の出版日に何とかギリギリ間に合ったとのこと。しかし、これも「残り5分となっちゃったので…」とさらっと流し、紹介



聴講者 集合写真

くださったのは、「仁科研究室門下生一同の研究成果の賜物」とのお言葉。そして、門下生が学会表彰された実績を1つ1つご紹介いただきました。1993年仁科研2期生の論文からスタートした研究が、2018年、最後の仁科研門下生の論文へと引き継がれている。最後まで、我々門下生をおもんばかって、華を持たせていただける様に、グッと来るものがありました。

研究成果の最後は、「“相関”は、“そう簡単ではない”という話へ。観察データと（実験による）計画データによって仮説を現実近づけていく。仁科研で貫いてきた研究テーマです。「くたばれ！共変量」を、来年の流行語にしたい。この研究に携わった人間に限り、流行するかもしれない小嘶？で、最終漫談形式の最終講義を締めくくられました。

そして、最後の最後に、「30歳になろうというおっさんが、22歳の女学生を口説いた」というお話で、これまでお支えになられてきた奥様への感謝のお言葉を、少し照れくさそうにしながらお話になっていました。

こうして「背中を押してくれた方々、そして、背中を支えてくれた方々に感謝して…」最終漫談を終えられました。我々門下生は、みなグッとくるものを噛みしめながら、最後まで仁科先生らしい、謙虚で下の人間を持ち上げてくださるお人柄に改めて感極まっていました。しかし、その後の懇親会の場で、御息女からご自宅での失態の数々を大暴露され、再び笑いの渦が巻き起こるというサプライズに。こちら、仁科先生のお人柄そのものでした。

長年に渡り、名工大そして経営工学科でのご指導、ありがとうございました。我々門下生は、皆、経営工学という学問に出会わせていただき、またデータ解析で社会の実態に近づくという研究に携わることで、それぞれ実社会で生きることができています。それだけでなく、仁科先生のお人柄により、人間としての成長にも大きな影響をいただいています。これからも仁科研門下生として歩んでいきます。ひとまず、ありがとうございました。

研究者紹介

画像信号処理技術を駆使した 高精細画像改質と 医療画像処理などへの応用

研究者：名古屋工業大学大学院
情報工学専攻 後藤 富朗 准教授



医療画像処理、写真や動画のぼけ・ぶれの補正、画像認識によるブランド品の真贋検査システムなど、デジタル画像信号処理全般の研究をしている後藤富朗准教授。解像度を上げて画像の高精細化を図る「超解像画像復元」の性能向上、演算処理時間の短縮などに取り組み、実用に向けた高速でノイズに強い高精細画像の画質改善を目指す。

特に需要が高まっている医療分野では、解像度が低いレントゲン写真から特定の病気の診断に必要な情報を解析・計測できるアプリケーションを開発した。さまざまな医療画像処理に適用できる技術の開発が期待される。

レントゲン画像解析によるリウマチの進行状況の把握

関節リウマチは、病状が進行すると「関節裂隙（かんせつれつづげき）」と呼ばれる関節と関節の間が狭くなり、関節の破壊変形をきたすため、早期発見によって早い段階で適切な治療を始めることが重要である。病状の進行の解析には患部を拡大したレントゲン画像が用いられる。その際、「関節裂隙間距離」（JSD: Joint Space Distance）が判断材料になるが、人のJSDの数値は約1mmなので、解像度が低く不鮮明な拡大レントゲン画像から手動で測定した場合、誤差なのか症状が進行しているのか判断するのは困難である。そこで、レントゲン画像からJSDを自動で測定処理するアプリケーションを開発した。

このアプリケーションでは、画像拡大の際に超解像拡大（図1参照）を行う。「TV (Total Variation) 正則化手法」という方法で、まず画像を骨格成分と、細かい質感などを表すテクスチャ成分に分離する。骨格成分に対しては、拡大によって生じた画素と画素の隙間を補完して滑らかな画像に処理する「線形拡大」と、輪郭を際立たせる「Shock Filter」を用いてエッジ強調を行い、テクスチャ成分に対してはノイズの除去と線形拡大を行う。その後、骨格とテクスチャの両成分の画像を合成することで、鮮明な拡大画像が得られる。

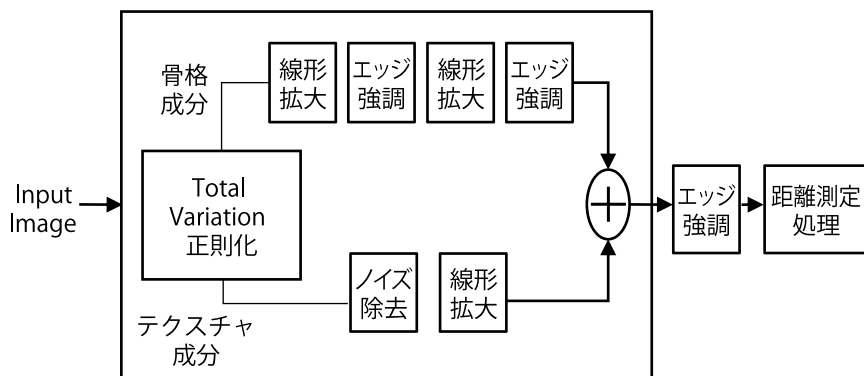


図1. 超解像拡大を用いた関節裂隙間距離測定アプリケーション

また、レントゲン画像は骨が重なっている箇所ほど白く映るため、コントラスト補正で骨のエッジを強調する。エッジ以外の余分な線を排除して、上の関節部分と下の関節部分のエッジのみを残す。こうして得られた2本の曲線とその間の面積から、JSDを自動で測定する(図2参照)。

今後は、さまざまなレントゲン写真や、MRI、内視鏡など幅広い医療画像処理への応用が期待される。

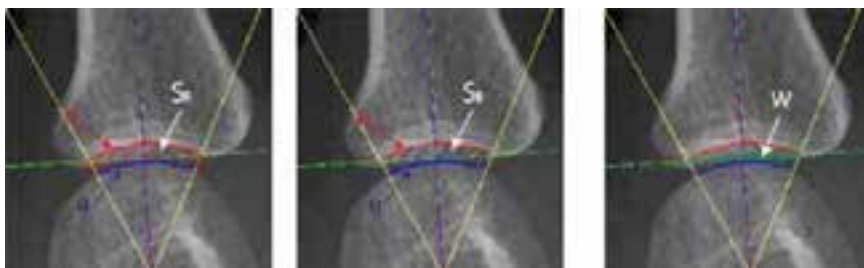


図2. 距離測定処理

ぼけの修正とピント合わせの補助

4K(約800万画素)、8K(約3300万画素)といった次世代超高画質ハイビジョンテレビや、医療診断用ディスプレイなど、高精細なディスプレイの登場によって、画像の高精細化が求められている。画素数の少ない従来の低画質の画像を高精細なディスプレイに映し出す場合、TV正則化手法、事例学習法、同じ対象を撮影した複数の画像から精細な画像を構築する「マルチフレーム法」といった手法を組み合わせる超解像画像復元を行う。

また、画素数が増えて画像が鮮明に映し出せるようになったのに対して、4K、8Kカメラで撮影する際にはぼけが多発している。それは、撮影機材に内蔵されている従来のファインダーの小さな画面上ではピントが合っているかどうかの確認が追いつかないのが原因で、対策として約50インチ以上のテレビに繋いで、その大画面を見ながらピント合わせをしているのが現状である。ピンぼけ画像を後から補正する技術の研究はもちろん、ぼけ情報を撮影時のファインダーの段階でリアルタイムに表示するなど、撮影時の補助となる技術の確立も目指している。

JST「イノベーション・ジャパン2018－大学見本市」 大学等シーズ展示及び大学組織展示のご案内

大学のシーズを紹介するイノベーション・ジャパン2018－大学見本市(2018年8月30日～8月31日 東京ビッグサイト <http://www.jst.go.jp/tt/fair/>)で、本学の技術を展示いたします。

出展者	展示タイトル
岩本 悠宏	非常に柔らかい永久磁石の開発と環境振動発電への応用
大塚 孝信	知的IoT プラットフォームによる長期環境情報予測システム
加藤 正史	高空間分解能なワイドギャップ半導体の電気特性評価
カリタ ゴラップ	極限環境下で使用可能な高感度UVセンサの開発
岸 直希	折り曲げ可能な貼付け型フィルム状熱電発電材料
佐藤 徳孝	バーチャルリアリティを活用した災害対応・橋梁点検ロボットの遠隔操作システム
林 幹大	無機物の均一分散を利用したポリエステル樹脂の簡便な非晶化・透明化技術

お問い合わせ先 国立大学法人名古屋工業大学 産学官金連携機構

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町字木市

E-mail: c-socc@adm.nitech.ac.jp

URL: <http://tic.web.nitech.ac.jp>

ホットライン

2018ロボコン応援記

今年もロボコンの季節になりました。6月10日(日)の午後から、去年と同じ東京の大田区総合体育館で行われました。

参加大学は24校ですが、鈴鹿高専が入っていました。勿論、昨年の優勝校東工大や準優勝の東大も参加しています。まず、24校を8グループに分け、各グループで予選リーグを行います。名工大はEグループで、他に金沢工業大学と鈴鹿高専ですが、このグループの中ではシード校になっています。

今年のゲームは、ベトナムの北部で有名な五穀豊穡のお祭りの『ネムコン』で、高さ1.5メートルにあるリングを目掛けて、シャトルcockを投げて祝う事に因んでいます。競技ルールとしては、中央に高さ2メートルのゴールデンリングがあり、その左に高さ1.5メートルの青リングがあります。まずは青リングに5メートル位離れた所から投げて、通過すれば成功で、第2ステージへ行きます。次は、この青いリングに8メートル位離れた所から投げて通過すれば第3ステージへ行けます。

第3ステージは、青いリングより2メートル位右に離れています。更にリングの高さも2メートルになり、投げてゴールデンリングを通して、そのシャトルの落下地点に直径2メートル位の受け皿があり、その上にゴールデンシャトルが止まれば勝利です。これを『ロンバイ』と言い、意味は『昇竜』と言う事だそうです。

では、ロボットはどこに登場するかと言えば、まず投げるシャトルcockを運ぶ役目のロボット(キャリングロボット)とそれを受けとって投げるロボット(スローイングロボット)の2台が主役です。

得点に付きましては、先程のロボットのシャトルcockの受け渡しの成功で1点、受け取ったスローイングロボットが、所定の位置から青いリング目指して投げます(第1ステージ)、無事通過すれば10点、次のシャトルcockを受け取って、先程から3メートル位後ろから投げます(第2ステージ)、これが青いリングを通過すれば15点になります。そして最後のステージになります。この時は、キャリングロボットから、金色(または特別な色)シャトルcockを受け取って、ゴールデンリングを目指す所定の位置に行き、リングを目指して投げます。投げられたシャトルcockがゴールデンリングを通過すれば30点で、通過して所定の受け皿に載って止まれば、『ロンバイ』で勝ちになり、そこまでのタイムが更に競われます。1試合の制限時間は3分です。



それでは競技の方へ、先ず予選リーグ第5試合が当Eグループの第1回戦で金沢工業大学対鈴鹿高専です。金工大はロボット同士が衝突して故障して動かず、残念ながら0：3で鈴鹿高専に敗れました。

続々と試合が進み、東大の第1回戦が岡山大と行われ、あっと言う間の15秒で『ロンバイ』で東大が勝ちました。その次の試合が名工大の第1回戦です。相手は先程金工大に勝った鈴鹿高専です。今年の名工大はシードされるだけ強そうです。確かにその通り、試合開始後57秒で『ロンバイ』を達成して初勝利です。

それから8試合後に、名工大の第2試合が始まりました。相手は初戦で鈴鹿高専に敗れた金工大です。ロボットを修理して試合開始です。あまりうまく修理できていない様で、動きがぎこちない内の1分34秒で名工大の『ロンバイ』となり、予選リーグを2勝0敗で決勝トーナメントに進出となりました。

決勝トーナメントは、予選リーグの試合結果により名工大は第4位となり、同5位の三重大と対戦する事となり、試合が始まりました。しかし、誠に残念ながら僅か24秒で『ロンバイ』達成されてしまいました。

試合がすすみ、夕方5時頃決勝となり、東京大と豊橋技術科大学が対決する事となりました。前評判の高い東大とこちらも『ロンバイ』を平均22秒位で達成してきた豊橋技科大ですが、試合の結果は東大が僅か16秒で『ロンバイ』達成で、昨年の雪辱となりました。

記：広報委員会委員長 森川民雄(W45)

《放送予定 7月16日(海の日)午前中にNHK総合テレビ》

平成30年度 名古屋工業会給付型奨学金授与式

名古屋工業会は、平成30年6月13日（水）、名古屋工業大学本部にて加川理事長、鵜飼学長の出席のもとに平成30年度名古屋工業会給付型奨学金の授与式を執り行った。この奨学金は、学部の新入生に対し、第1年次から第4年次終了の4年間、経済的理由により学生生活に不利益を生じないように支援することを目的に、名古屋工業会が昨年度から開始した「給付型奨学金」である。

本奨学金第2期生として採用された、生命・応用化学科 有賀翔平さん、社会工学科（建築・デザイン分野）佐藤歌弥さんの2名は、加川理事長から証書を授与され、温かい激励を受けた。その後、加川理事長、鵜飼学長、犬塚副学長らと、4年間の大学生活への抱負を語るなど和やかに懇談を行った。



懇談会



加川理事長、佐藤さん、有賀さん、鵜飼学長

情報 ネットワーク

平成30年度 尾張支部総会報告

4月7日(土)平成30年度の尾張支部総会を名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館)小ホールで開催しました。工業会から水嶋敏夫理事長、内藤克己常務理事、大学から鶴飼裕之学長のご来賓を頂きました。参加者は来賓者を含め47名でした。この他に特別講演とミニコンサートへは家族・知人を含め8名の参加がありました。

今回は支部として若い卒業生の参加と新規参加者勧誘を強化した結果、平成23年卒業の参加が2名あり、初参加者は7名で全参加者の16%に達し、新鮮で活気あふれる支部総会でした。

今後の支部活動への第1歩であり、成果でもあり、これからは女性を含む若い卒業生の支部活動参加への勧誘を一層強化し、更に支部内に鶴桜会の下部組織化に向けて活動強化を図る予定です。

第1部の支部総会の冒頭29年度にご逝去された会員物故者2名のご冥福を出席者全員で黙祷を捧げた。続いて音無支部長挨拶、次いで来賓祝辞として水嶋理事長及び鶴飼学長よりそれぞれ近況と今後の方針・計画等のご説明いただきました。支部長より平成29年度事業報告、大竹会計幹事より会計報告、山内監事より会計監査報告がそれぞれあり、支部長より平成30年度の事業計画(案)の説明あり、最後に全議案の承認を全参加者から得ました。

第2部は特別講演。名古屋工業大学生命・応用化学専攻教授神取秀樹先生より『光といのちの化学』とのテーマでお話していただきました。神取先生の研究対象は『ロドプシン等の光受容蛋白質』と聞いて工業会メンバーに戸惑いがありました。しかし、先生の講演が始まるとパワーポイントを用いて易しく高度な内容で1件毎に神取ミラクルワールドへ導いて、さすが講演数をこなしていることを実感した。講演内容の要

旨は「光とは、生命とは。感覚の遺伝子とは？」等をイラスト・クイズ方式取り入れ順次説明をされた。

電磁波・光の波長スケールに対応した生物について、クイズ1：人の遺伝子サイズと他の動物との比較、2：光学顕微鏡の最高倍率、3：人の視・聴・嗅・味の4感覚の遺伝子数、4：色識別できる動物は？この答えに対し動物の視覚タンパク質の歴史的進化グラフで表示していただき納得した。

次に生物の光センサー機能：タンパク質内では情報伝達と変換機能となり、視覚には明暗覚と色覚はどのようなメカニズムで認識しているかを現レベルでの構造情報を基に研究している。これらの研究には資料調製の難しさと実験は暗室で赤ランプの使用等の難題がある。続いて光陽イオン輸送分子ポンプの話に移り、周期表のI Aアルカリ金属元素H・Li・Na・K・Rb・と進みセシウムCsまで汲み出す細胞膜のポンプを名工大で実現し、将来原発事故等でセシウム除去に応用の可能性ありうるということです。

最後に、名工大発のロドプシンが認知症治療に、光操作により脳、神経機構の解明、新規治療に貢献等応用の範囲は広い。

最終的に名工大からノーベル賞受賞者を目指していますとの説明後、会場は期待感に包まれた。



神取先生の講演

第3部はミニコンサート。ソプラノ・奥村育子さん、ソプラノ・今尾奈々さん、

ピアノ・奥村明子さんと春にちなんだ日本の民謡『隅田川』を含む6曲、モーツァルト作曲のオペラ『コシーフアン・トゥッテ』より私は黒髪の方にするわ』他幾曲、途中奥村明子さんのピアノ独奏があり、最後に美空ひばりの『愛燦燦』をオペラ風にアレンジして歌い上げ、1時間若い歌手の歌唱力・表現力を堪能した。



第4部は記念撮影。ミニコンサート出演者にも入って頂いてのスナップです。



第5部は懇親会。山中昭廣石塚硝子相談役兼支部幹事さんに乾杯の音頭をお願いし、ミニコンサート出演者も加わり賑やかな雰囲気包まれた立食パーティーで歓談。今回7名の初参加者中2名は欠席で残り5名の自己紹介を途中で挟み、最後に全員で「東海の邦のほまれに」を斉唱し、伊藤美保副支部長(D44)の音頭で体操を兼ねた両手を頭上で円を作り万歳1唱し、来年の再会を約して18時30分散会となった。

記：音無通男(W41)

大阪支部 技術士部会開催

平成30年4月26日(木)に本年第1回目の大阪支部技術士部会をアーバネックス備後町ビル2Fにて開催しました。今年技術士に合格したMH10の内藤陽さんも加え、参加者は13名と、ここ数年では出席者も一番多く、大阪府・兵庫県・京都府・奈良県など関西地区の技術士に加えて、名古屋工業会大阪支部長の岡崎格郎さんにも参加して頂き、活発で楽しい部会となりました。

自己紹介の後、「江の川下流部の水害防備林を活用した治水計画」のテーマで、いであ(株)大阪支社河川水工部の企業内技術士CH12の青木健太郎さんに、広島・島根の2県をまたぐ中国地方最大の河川である江の川下流部の水害防備林についての話を頂き、質疑応答で盛り上がりました。

その後、各自の実施している興味ある技術課題などを話し合っていると、2時間はあっという間に過ぎてしまいました。

次回は今年10月の予定です。

記：松永 純二(M46)



岐阜支部 平成30年度総会報告

(一社)名古屋工業会岐阜支部の平成30年度総会及び懇親会を、平成30年5月12日(土)午後5時から岐阜駅前のホテルリソル岐阜に於いて開催しました。

例年通り総会前、午後4時から支部活性化事業の一つとして講演会を行い、今年度は、M56の名古屋工業大学教授北村憲彦氏にお願いし「名工大の変革と未来へのチャレンジ」と題して、ご講演いただきました。北村先生は名工大博士前期課程を終了後に(株)豊田中央研究所に入社され、14年間勤務された後に名工大に戻り、平成9年には工学博士を修得されました。

名古屋工業大学の基本使命として、1. 革新的な学術・技術を創造、2. 有為な人材の育成、3. 社会の平和と幸福への貢献を目的に機能強化が図られ、その一つとして学科・専攻の改組について説明いただきました。

平成28年4月に機械工学科と電気電子工学科を合体して電気・機械工学科とするなど、その必要性和卒業までのプログラムなどについて事例を交えて聞かせていただきました。また、今年5月には「先進生産技術研究センター」も組織され、未来へのチャレンジを聞かせていただき有意義な講演でありました。

一旦休憩した後、平成30年度岐阜支部総会を開催しました。最初に元島支部長(D40)より開会挨拶の後、来賓の名古屋工業会加川純一理事に挨拶をしていただきました。加川理事からは名古屋工業会の現状や大学への協力などについてお話をいただきました。その後、29年度の事業報告、30年度の事業計画、役員改選等の議案を上程し、滞りなく議決していただき、議事を終了しました。

総会終了後に、参加者全員で集合写真を撮影し、懇親会を行いました。今回の参加者は例年並みの33名でしたが、更に会員増強のため今後の活性化に取り組んでいく所存です。

記：岐阜支部代表幹事 関尾 光正(D41)



講演会の様子



総会終了後の集合写真

平成30年・大阪支部「春季歴史探訪の会」開催報告

(関ヶ原古戦場跡・彦根城巡り バスツアー) 担当:大阪支部「集いの会」

日 時：平成30年4月21日(土) 08:00～19:00

参加者数：36名

内 容：関ヶ原古戦場跡巡り…関ヶ原歴史民俗資料館、徳川家康最後陣跡、東首塚、関ヶ原決戦地跡、石田三成笹尾山陣跡を訪問(現地ガイドによる説明)

- ・不破関資料館訪問…壬申乱・不破関に関する資料、遺物、ビデオ説明
- ・彦根城訪問…彦根城城郭(岡崎支部長による解説)、佐和山(三成居城跡)を眺める

関ヶ原の戦い後417年が経ち、昨年、岡田准一主演の映画「関ヶ原」などで、関ヶ原の戦いを見直す動きも大きくなる中で、我々の歴史探訪でも関ヶ原古戦場に焦点を当て、今回戦いの地を訪問しました。

関ヶ原町の現地ガイドの方二名が古戦場の説明をされましたので、我々36名は東軍、西軍の2班に分かれて、各ガイドの説明を受けました。東軍、西軍の立場に立って戦闘モードの鋭い質問攻めもありました。

関ヶ原古戦場では徳川家康最後陣跡、東首塚を訪問したあと関ヶ原歴史民俗資料館を訪れて当時の戦闘状況を整理した後で、関ヶ原決戦地と石田三成笹尾山陣跡を訪れ、山上から関ヶ原全体の地理を把握して、当時の戦闘状況を確認しました。

その後訪れた不破関資料館では、さらに古代に遡り、壬申の乱の激戦が同じ関ヶ原で行われたことを確認し、関ヶ原が2度にわたる歴史的に重要な戦いの舞台となったことを理解しました。

最後の訪問地の彦根城は、関ヶ原の戦い後石田三成の居城であった佐和山城を活用して造られた井伊家の拠点であり、城の造りが華麗かつ堅固であることを岡崎支部長の説明で理解できました。また天主閣からは佐和山と琵琶湖が身

近に眺められて、この城の立地が非常に良い点も確認しました。

今年放映されているNHK大河ドラマ「西郷どん」では、この関ヶ原の戦いで西軍として参戦し、敵の正面を突破して逃れた島津義弘公を偲んで、子供たちが鎧冑に身をかためて20kmの道のりを駆ける妙円寺詣りが初回に映されました。薩摩ではこのように関ヶ原を忘れない行事が続けられ、結果明治維新の原動力となり、長州藩とともに、関ヶ原の戦いの250年後に西軍の東軍(幕府軍)へのリベンジが行われたことを考えると、歴史の重みと大きな流れを感じさせられました。

次回の2018年秋季歴史探訪は9月29日に予定され、中井正清関連の京都の建築を訪ねます。中井正清は関ヶ原の戦いに西軍工兵隊として参戦し、この戦いでの見事な活躍で徳川家康に認められ、その後家康の京都大工頭として多くの城郭を建築することになります。これらの活躍は名工大の故城戸久名誉教授が研究され、世間に知られることとなりました。今回は名工大と非常に縁のある中井家の京都の建造物を見る企画ですので是非ともご参加下さい。秋には皆さまと京都でお会いできる事を楽しみにしています。

記：横山 誠(K47)



関ヶ原歴史民俗資料館にて



笹尾山石田三成陣跡にて



彦根城にて

38年ぶりの高温材料研究室 同窓の集いの開催

概況

平成30年4月19日(木) 15:00、お招きした山口明良先生とともに、故加藤悦朗教授のご指導に与ったY45～Y49卒業生26名の内7都県より16名の方が名工大正門に集合し、外観も組織も様変わりした学び舎の見学を実施しました。

鶴舞公園を経て栄の宴席に移動し賑やかに卒業後40年余の久闊を叙しました。

1) 名工大の見学(15:00～16:40)

懐かしい母校はすっかり変わり、殆どの施設が現代的装いでリニューアルされた中、材研の建屋だけが耐震補強の重々しい鎧をつけ当時の姿を保持しておりました。集合時よりH2年材料工学科卒の橋本忍教授(生命・応用化学科 環境 セラミック分野)がアテンド下さり、キャンパス案内、試験作業室見学、春日教授(S56年無機材料工学科卒)による“フェルト状骨再生応用イオン徐放性炭酸カルシウム”の技術紹介を頂きました。



交友会館前にて (右端：橋本教授)

2) 鶴舞公園

名工大の見学を終え栄へ向かうべく、通学、コンパの酔い覚まし、デート等利用した鶴舞公園を経由しました。当日は快晴で真夏を思わせる天気、季節の色鮮やかな花々を見ながら樹陰を選び鶴舞駅へ向かいました。公園内の噴水や奏楽堂は当時放置状態でやつれていましたが、

今は化粧を施され立派な姿に生まれ変わっています。

3) 同窓の集い会食(17:00～19:40)

栄“日本海庄や”中日ビル南店にて喜寿を迎えられる山口先生のお祝いを兼ねて宴席が設けられました。

あっと驚く変貌を遂げた総勢16名、すっかりリタイアした方、時に仕事をなさる方、未だ現役で頑張る方、様々でしたが、同じように懐く思いは、何はともあれ卒業後40数年を生きてその変貌に驚きつつも再会できた喜びでした。

亡き先生方の思い出、お互いの来し方、話は尽きず、美膳に美酒を楽しむ中瞬く間に時間が過ぎ、終宴となりました。逝去された方々のご冥福を祈るとともに、皆様お健やかに過ごされ数年後の同窓会で再び集うことを願い、最後は皆様で力強い一本締めで散会となりました。



旧懐あふれる宴での集合写真

所感

母校の目覚ましい発展を見て、浦島の思いを深くしました。前回 昭和55年には加藤先生以下皆様ご活躍の中参集できましたが、今回は残念ながら加藤、大門両先生が既に他界され、また開催準備の中でお二人もの同窓生のご逝去を知り、心に穴があく思いが致しました。

記：横石 章司(Y49m51)

W35卒同級会「八友会」開催

紡織科8期生同級会「八友会」は60才を越えてから毎年春定期的に開催、関西と中京地区が交互に幹事をつとめて、宿泊/会食/懇談、翌日はゴルフ/観光を続けてきました。

年齢を重ねるにつれ体調不安を訴える人が増えて今回の参加者は11名と少なかった。

「傘寿越え」は1つの区切りと思っていたので、今回は母校の見学を組み入れました。

昨年、工業会三重県支部総会で工業会の内藤常務理事にお会いし母校見学の際のご支援を頼みました。

5月14日(月) 11時30分参加者11名卒業生連携室に集合。工業会・内藤常務理事、双友会・森川会長、卒業生連携室・高木副室長も加わって頂き、名工大の現況→学生数…学部生(2部含む)・大学院(1800名、学部生の70%が院生に)を合わせ5700名、女子学生比率15%、留学生300名(Nolは中国)等など拝聴。自動車産業の集積地でもあり自動車関係に毎年160名就職など各種参考資料をいただいた。

隣の交友会館内の資料室には名工大の歴史資料が展示されていた。大野耐一氏(トヨタ)のカンバン方式、D同期生・岡本三宣氏(東レ)の極細繊維開発/エクセーヌ工業化等の展示あり。

12時頃から1時間校内見学、建物は冷暖房完備。教養部が鶴舞に統合され、グランドのみ旧

分校に有るとのこと。旧紡織工場の近くには一本松古墳が残っていた→記念写真撮影。学内に「繊維/紡織」の文字が無く寂しかった。

13時より、八友会11名とご案内7名の方との昼食会は久しぶりの学食。きれいで雰囲気が高く美味しかった。街の書店を思わせる生協の本屋、コンビニ風の売店等大学も変わったなと実感した。

14時30分 案内をお願いした学校関係者にお礼を述べ、母校を離れ、懐かしい名大病院前の通りを中央線鶴舞駅へ歩く。

15時45分 蒲郡駅に到着、ホテル竹島へ

18時～ 会食/懇談/各自の近況報告、記念写真
最後に最遠方(埼玉県加須市)から出席した伊藤富士男君の音頭で万歳三唱

15日(火) 9時～ 竹島周辺の散策、島の周囲は遠浅で昔と変わらずアサリ漁が盛んだ。

10時30分蒲郡発→11時30分名古屋着。今後の長寿全うを誓いながら散会した。

(出席者)

伊藤富士男・小野孝之・後藤 孟・酒井麓郎
下方 洋・花木和麿・日比貞雄・松下正三
松原 晃・山田芳信・河辺博治

記：河辺 博治(W35)



愛媛支部 ダム見学会報告

名古屋工業会愛媛支部は、平成30年3月3日に鹿野川ダムトンネル洪水吐新設工事の見学会を行いました。

鹿野川ダムは、愛媛県大洲市中心部を流れる肱川の上流にあるダムの一つで、洪水調整機能の増強、不特定用水の補給、貯水池水質改善を目的とした改造工事を行っており、その工事現場がCM②館井様の職場となっております。

今回の見学会では、ダム全体の説明と、ダム湖の見学、ダム内部の見学、工事中の洪水吐設備の見学を行いました。C39林原様の知人の合田武治様も参加していただき、合計6名で巨大なダム工事の敷地内を歩き回りました。

水捌けの悪い大洲盆地を洪水から守るため、人知れず働き続ける巨大構造物とそれを保守する人たちの存在を心に焼き付けながら解散しました。

記：浜田裕介(D⑭)



後列左側より C43千羽 D⑭浜田 合田 C39林原
前列左側より CM②館井 F59吉良 (敬称略)



名工会東京支部 第235回ゴルフ大会報告

名工会東京支部第235回ゴルフ大会は6月1日(金)に千葉県佐倉市の佐倉カントリー倶楽部で開催しました。

梅雨前の雨模様の予報が、晴天で湿度の低い爽やかな風が吹く恵まれた素晴らしいコンディションの中、4組15名でスタートし、最長老でM18小関先輩(95歳)をはじめ全員が快適なラウンドを楽しみ無事にホールアウトできました。

成績は、優勝 M36野澤滋為さん(NET79)、準優勝 M42河野正武(NET80)、3位 B45林利信さん(NET80)でした。

プレー後の懇親会は、当日誕生日のD30加藤さん(85歳)とM48寒川さん(70歳)のお祝いを兼ね、益々の ENJOY GOLFを誓い合いました。雨設定の難しいピンの位置と複雑な傾斜のグリーンに苦戦を強いられたこと、前半のインよりアウトのスコアが平均で5.6打/人多く(大波賞が1名のみ)高齢化による後半の疲れ等言い訳の話で盛り上がりました。恒例通り上位入賞者等への表彰とスピーチを楽しみながら懇親会を終えました。

また、来年も佐倉CCで6/5(水)に予約しております。なお、次236回は例年通り東京都の若洲リンクスで9月に開催予定です。沢山の方のご参加をお願いします。

また当会の活動内容のお問合せ及び入会希望者の方がいらっしゃいましたらC44川島泰さん(k_tai@ametyyst.broba.cc)までご連絡ください。

記：幹事 黒田達郎(C31) 河野正武(M42)



訃 報				訃 報			
荻 谷 二 郎	C18	H29. 4. 22		脇 田 紘 一	Es43	H29. 6. 23	
片 山 文 雄	C19	H29. 11. 1		渡 辺 正 孝	W33	H29. 4.	
伊 藤 幸 郎	C23	H29. 3. 9		高 嶋 良 二	W41	H29. 8. 5	
安 藤 山 城	C23	H20.		久 野 正 樹	W43	H30. 3. 9	
安西(旧:花井)和夫	C23			伊 藤 道 康	W43	H29. 3. 12	
加 藤 三 生	C23	H26. 9. 8		高 橋 勇	W58		
遠 藤 徳 雄	C24	H29. 2. 25		山田(旧:水野)治夫	D23	H29. 7.	
加 藤 宣 雄	C29			織 田 春 雄	D23	H26. 11. 29	
市 川 直 彦	C41			中 島 良 三	D23	H22. 3. 25	
浦 野 三 男	A20	H30. 4.		小 川 昇 三	D24	H27.	
舘 隆 之	A28			井 上 富 夫	D28	H30. 3. 13	
柳 元 伸 宏	A53	H24.		山 口 捷 美	D33	H29. 8. 18	
一 尾 光 素	A55			大 滝 清 雄	D33	H27.	
平 岩 慶 一	M14	H29. 5. 5		安 田 保	D37		
松下(旧:曾根)和朋	M18			森 順 司	D43	H27. 2. 18	
服 部 順 治	M18	H29. 10. 2		堀 定 次	D45	H29. 10. 7	
古 田 人	M23			高 田 光 章	G47		
粕 谷 恒 夫	M23	H29. 8.		大 矢 昭 生	G53	H22. 2.	
岡 村 鐘 雄	M23	H17.		林 金 作	Y23	H29. 12. 21	
日 下 規矩雄	M23	H28. 11. 16		道 家 清 正	Y30	H29. 7. 24	
船 戸 忠 和	M33	H23. 8. 1		阿 部 良 弘	Y33	H29. 2.	
岡 島 弘 之	M33	H16.		小 林 謙 一	K38	H30. 1. 31	
角 谷 宏	M33			小 林 英 晴	F40	H30. 4. 22	
増 井 勝	M43	H29. 9. 14		武 田 浩 良	F40	H29. 8. 28	
多 田 良 之	E14	H30. 5. 1		戸 田 栄 一	B42	H29. 12.	
太 田 順 三	E23	H26. 3. 10		矢 倉 日出男	B43	H28. 12. 31	
堀 三 木	E23	H22. 10.		久 保 権三郎	㊞19		
河 井 健太郎	E23	H29. 4.		北 野 豊	㊞20	H29. 8. 5	
金 田 桂太郎	E32	H30. 3. 1		清 水 二 郎	㊞23	H30. 2. 17	
米 田 順 之	E38	H29. 2. 7		中 島 徹	㊞18		
新 谷 謙 治	E44						

謹んで哀悼の意を表します。



(株)ブライダルは 名古屋工業大学会員の皆様の 「結婚」を応援します。

40年の実績
(一橋大コースetc)



左のQRコードにて携帯サイトに
簡単にアクセスできます。
(一部対応しない機種がございます。)

名古屋工業大コース

これをご覧になったとおっしゃってください

登録料 **50 % OFF**

ブライダルコース ¥226,800→¥210,600 etc.

エクセレントコース ¥388,800→¥372,600 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

- 成婚率は業界トップクラス。
- 入会審査有り。
- 都庁・官公庁・有名大学などでメディア展開。
- お客様満足度NO.1のお世話を目指し少子化問題にも貢献。

株式会社 **ブライダル** お問い合わせ (月曜定休) ☎0120-415-412
http://www.bridal-vip.co.jp
名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

技術支援

メカから電気・電子、半導体まで
開発設計、品質、生産技術、生産まで

研修・講演

技術系全25講座 ー材料、加工、設計、電気・電子、
組込コンピュータ、各種要素技術…
品質系全30講座 ーDRBFM、なぜなぜ分析など
各種未然防止手法
マネジメント系10講座 ー経営品質、もしどらーダシブ、
プロジェクト管理…

WORLDTECH

株式会社ワールドテック

代表取締役 寺倉修(F50)
〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-22りそな名古屋ビル7F
TEL: 052-219-6025 FAX: 052-219-6026
E-mail: solution@worldtech.co.jp

企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで
トータルサポートでお値打ち!!

デザイン

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カタログ・
パンフレット・ポスター・定期刊行物
etc.
タイプ・電子組版時代から築き上げら
れたノウハウはDTPにおいて、特に
不得意とされる縦組みの書籍・表組み
の頁物も得意分野です。

印刷

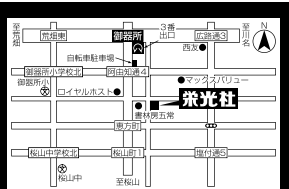
カラー印刷・2色刷り・1色刷り・特色
刷り、品質・部数・ご予算に応じて提供
いたします。
Macintoshのみならず、ワード・大
部等の通常のオフセット印刷に過ぎな
いWindowsデータの出力ノウハウも
ありますのでご相談ください。

製本

自分史・体験記・詩歌・俳句・小説・エ
ッセイ・電話・絵本等、自分の本を作りた
いとお考えの方。
各種マニュアル・広報・配布文書・名鑑・
クラブ・サークル誌・宣伝物等、製本で
お困りの学生・法人の方、少ロットより
お手伝いします。

総合印刷の 有限会社 栄光社

〒466-0035 名古屋市中区松風町三丁目4番地 2F
TEL. (052) 848-6148
FAX. (052) 848-6518
URL http://www2.ocn.ne.jp/~eik/
E-mail eikou@theis.ocn.ne.jp



広報委員会

委員長 森川 民雄 (W45)

学内

吉田 亮

北川 啓介 (SA⑧)

古谷 正広 (MF③)

関 健太 (EP⑫)

山本 勝宏 (ZW⑥)

安井 孝志 (D62)

本多 沢雄 (ZY⑥)

小坂井孝生 (K49)

米谷 昭彦 (F60)

川村 大伸 (SS⑩)

三田 晴伸 (名古屋工業大学 広報室)

学外

林 幹雄 (SC①)

浅野 健 (SU⑥)

廣瀬 光利 (E50)

吉木 満 (W56)

高取 奨 (D⑥)

野々山尚志 (Y63)

大矢 泰正 (K52)

守田 賢一 (F47)

入倉 則夫 (B47)

一般社団法人名古屋工業会会誌 「ごきそ」に広告を掲載しませんか

「ごきそ」は隔月発行し、会員・廣告
主・関係官庁・各学会・大学・図書館等
に頒布されています。

詳細は名古屋工業会のホームページ

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

ご確認ください。

※広告を募集中です。お問い合わせは名古屋工業会 E-mail: gokiso@lime.ocn.ne.jp までお願いします。